



通信員コメント欄からの声を集めてみました。

## 希望記事

・老親を抱え、今後介護が必要になるかもしれないので、今号のように「介護が始まる時」のような高齢化関連記事を取り上げていただければと思います。

・肺炎など、個別疾患について、特に、高齢化に伴う病気について取り上げていただきたい。

ライフプランを考えるにあたって、自分自身もしくは家族の高齢化に伴う問題は非常に重たくかつ不可避なテーマです。本誌では今後も様々な角度からこのテーマに関連する情報を取り上げてゆきたいと考えます。

・今年度は冬季オリンピックが開催された後、ワールドカップサッカーが六月に開催され、一二月には再び日本でワールドカップが開催されるか決定しますが、スポーツ、特にサッカーと自治体に関わる特集記事はどうでしょうか。

・今冬のオリンピックでは、たくさんの勇気と感動をもらいました。時期的なものもあるかと思いますが、次号で選手やコーチの方々は是非取り上げてほしいと思います。

スポーツ自体に焦点を当てた記事よりも、あくまでライフプランとの関係で「生きがいとスポーツ」「健康づくりとスポーツ」といった視点から記事を作り上げてゆきたいと考えます。例えば「サッカーと自治体」であれば、「スポーツ振興の仕事としてサッカーに係わっている自治体職員の話」になるのでしょうか。もし該当する方でご寄稿いただけるのであればぜひご連絡ください。

・他の自治体のライフプラン事業の取組についてシリーズにして取り上げてはいかがでしょうか？ 本市は、ライフプランセミナーが講師の一方的な講義であることから、受講者参加型のワークショップ形式に変更できないか検討しています。他の自治体等で実施例があれば参考にしたいと考えています。

本誌では、過去に自治体によるライフプラン事業の取組事例を連載で紹介しておりますが、すでにかんりの年月が経っていますので、改めてシリーズで個別事例を紹介するべき時期に来ているのかもしれない。今後の記事構成を企画する際に検討します。

・今回の「法律よもやま話」はクレーム対応につながるものでよかったです。このような知識が頭の隅にあると、実際に対応するときに慌てなくてよいと思います。こういった記事が福利厚生やライフプランと関係あるかどうかわかりませんが、また掲載してほしいと思います。

今年度はタイトルを「法律あ・ら・か・る・と」に改めて、新たな執筆者で引き続き身近な法律問題を取り上げていきます。

・公務員の福利厚生、特に、地公法にいう事業主（知事）の職員に対する元気回復のための事業に関して、税金で対応していることに、理解がなく、新聞報道などでは批判的な記事が多く、風当たりが強い気がしますが、民間のように利益の還元といった観念がない公務員として、どう対処していけばよいのか、その取り組みについて、とりあげていただけないでしょうか。

ご意見としてうけたまわりました。

## その他ご意見

・手話通訳士の谷村さんの考え方に感銘しました。今の時代こんな若者がいることが刺激になりました。

・手話通訳士の存在を初めて知りました。とてもよい特集でした。

手話通訳士という職業があつて非常に高度な通訳をされている人たちがいることをネットで初めて知りました。私たちは手話の技術そのものに関心が行きがちですが、外国語の通訳でも発生する「相手に適切に伝える難しさ」が手話通訳にも当然存在します。そういった専門性を読者の皆さんに知っていただきたく、ご執筆を依頼した次第です。

・「知っておきたい裁判員制度」はとても良かったです。制度の内容や、私たち市民が地域の刑事事件に関わることの必要性が、良く理解できました。もし自分が裁判員に選ばれたら、公正な裁判が行われるよう協力したいと思います。

・裁判員の記事について。今まで漠然とした知識・認識しかなかったのが、今回の記事を読んできちんと形になりました。(他同意見あり)

ありがとうございます。裁判員制度については実際に始めてみないと分からない部分が多かったこともあり、最高裁による初めての調査報告が出たタイミングでの取材となりました。マスコミ等で裁判員裁判の事例が取り上げられて以降、関心を持たれた方が大多数ではないでしょうか。裁判員候補選定は今後も行われることですので、いざという場合に適切に対処できるよう、情報を仕入れておくことは有益だと思われれます。

・低金利時代になつてしばらく経ちますが、あと数年で現役リタイアとなる時期にきて、ライフプランを本当に考えなければならぬと思っております。「ライフプランから始めよう」の解説で、安全性、流動性に収益性の概念が必要であることが分かり、新たに気づかされました。漠然としたものから、きちんとしたプランを作ることが大切で、いろいろなお話が分かってくるような気がします。

本誌の記事が皆さんのライフプランづくりのきっかけとなれば、協会としてはこれ以上の喜びはありません。よいライフプランがつけれるといいですね。

・「つながりが、まち」を変える」の記事で。会の立ち上げは勿論ですが、それを持続させていくということは大変困難なことだと思います。紀平さんをはじめとするスタッフが、先を見越して次々と新しいアイデアを出した結果だと思えます。

同感です。

・アルプスは読んでみるととても面白いのですが、各所属に一冊ずつあればみんなが読めるのにとっても残念です。ページ数が五分の一になつてもいいから、所属に一冊(一〇〇冊くらいは必要ですが)いただくと読めるのに、と思います。一五〇〇以上の職場なのに一〇冊くらいしかないのではあまり……

「ALPS」は無償での配布ということもあり、作製部数が限られています。全国全ての地方自治体等に配付するため、一カ所当たりの部数は少数になつてしまい、大変ご迷惑をおかけいたしております。今号でも紹介しておりますが、当協会ホームページ内で最新号及び一部のバックナンバーについてPDF形式で記事を掲載しておりますので、是非ご利用ください。